

I 類 論文課題

【化学】

社会経済活動の持続的な発展のためには、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から資源循環利用を基調とした社会へと転換を図ることが必要です。特に、プラスチックは、その有用性から幅広い製品に利用されている一方で、不適正な処理のために少なくとも世界で年間約800万トンが陸上から海洋に流出していると推計され、地球規模での環境汚染が懸念されています。

このようなプラスチックごみ問題を背景に、我が国では令和4年4月、製品の設計からプラスチック廃棄物の処理までに関わるあらゆる主体におけるプラスチック資源循環等の取組を促進するため「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。

福岡県では、令和2年7月から「ふくおかプラスチック資源循環憲章」を策定し、「ワンウェイプラスチックの使用削減」、「効果的・効率的で持続可能なリサイクルの推進」、「バイオプラスチック等の代替品の適切な利用促進」の3つを柱に、各種の取組を進めているところです。

そこで、あなたが考えるプラスチック資源循環に有効な具体的取組と、その取組をどのように進めたらよいか、各主体（国、市町村、企業、県民など）との連携も含めて、あなたの考えを述べなさい。